

浸水から街を守る『いろは呑龍トンネル』

いろは呑龍新聞～平成27年12月号～



いろは呑龍トンネル乙訓ポンプ場見学会を開催しました！



平成27年12月5日（土）に『いろは呑龍トンネル乙訓ポンプ場見学会』を開催したところ、たくさんの来訪者が乙訓ポンプ場を見学され、台風の痕跡などを実際に見ていただき、過去の台風における『いろは呑龍トンネル』の活躍や浸水対策の重要性を理解していただいたと思います。



さあ地下2.4mの乙訓ポンプ内に行きましょう。



100%貯留した時の台風痕跡を見ていただきました。



乙訓ポンプ場の階段を地下2.4mまで歩いていただきました。



乙訓ポンプ場の一番下です。大雨時に管渠から水が流れてきます。



全国下水道マスコット総選挙で1位を獲得した呑龍太郎が登場



いろは呑龍トンネルの活躍を参加者全員、熱心に聞かれていました。

雨水南幹線を掘削するための準備工をしています。

雨水南幹線発進立坑（縦穴）からシールドマシン（掘削機）を発進させる準備をしており、平成28年2月下旬の掘削開始を目指しています。



門型クレーン基礎を施工しています。



発進部の地盤改良工を実施しています。